

小学生の部 佳作

理想の学校

北浦小学校 6年 瀬戸 美沙希

私が考える理想の学校は一人ひとりの考え方を受け入れ、障害のある人でも楽しく通える、いじめのない学校です。

そう考えた理由は、私の友人は、3年生のころいじめが原因で転校してきました。いじめとなった原因是、友人が抱えている持病の『皮ふえん』です。その持病の皮ふえんで友人は、みんなに話を聞いてもらえないかったり、けだものあつかいをされるようになりました。友人はこのことを担任の先生に打ちあけました。しかし、先生は友人の話を聞こうともしなかったそうです。このとき友人は、

「もう、ここでやっていくことはできない。」と思い、家族に相談して転校することに決めたそうです。この話をきいたとき私は、本当にそんなことがあるのかと思いつつも、もし自分にそんなことがあったらこわいな、と思いました。

宮城県は47都道府県の中で、小学校、中学校、高校とで合わせた不登校生徒数が、トップレベルに多いとニュースで聞きました。

特に、平成26年では、中学1年生の不登校生徒が日本で一番多かったといわれていました。私は、自分の住んでいる宮城県でこんなにも不登校生徒数が多いとは思わなくて初めてニュースで知ったは、おどろきをかくすことができませんでした。

また、世界には、障害を持つ人はたくさんいます。そして、障害の持つ子供へのいじめは、世界各国において何度もあります。そのいじめをなくすために、私が考えたものは、『個別授業』です。個別授業を行えば、その人のペースで、授業を進めることができ、目や耳に障害のある人でも授業を受けることができるからです。そして、学校には、足が不自由な人でも通れるスロープや、目が不自由な人に必要な点字や、点字ブロック、耳の聞こえない人、言葉が上手く話すことのできない人でも分かるように、手話の先生によっての通訳などに取り組んで行くことが大事だと思います。

私も4月から中学生になります。自分の通う中学校でいじめがないように自分なりに気をつけていきたいです。私は、中学校で何部に入ろうか迷っています。部活内のいじめや人間関係の問題があったらどうしようと思うことが何度もあったけれど、自分の入りたい部活を選んで、自分で決めたことからにげないでいきたいです。だから、いじめがあったら見て見ぬふりをしないで勇気を出して立ち向かいたいと思います。